

福島県 令和6年度当初予算

令和6年2月2日

《モニター画像 1》

令和6年度当初予算につきまして、発表いたします。

令和6年度当初予算

予算規模

1兆2,381億円

(対前年度比 Δ 1,001億円)

うち 復興・創生分
2,394億円

2

《モニター画像 2》

一般会計当初予算の総額は、1兆2,381億円であります。
これは前年度比で1,001億円の減となります。
このうち、復興・創生分として2,394億円を計上いたしました。

令和6年度当初予算

【歳入】 1兆2,381億円

I 県 税	2,355億円
II 地方交付税等	2,409億円
	(うち地方交付税(通常分) 2,065億円 臨時財政対策債 33億円 震災復興特別交付税 311億円)
III 国庫支出金	1,947億円
IV 繰入金	1,172億円
V 県 債	1,445億円
	(臨財債除く)
VI その他	3,053億円

【歳出】 1兆2,381億円

I 義務的経費	3,791億円
II 投資的経費	2,048億円
III 一般行政経費	6,542億円

(注) 金額について、表示単位未満の端数は、記載区分毎に四捨五入している。

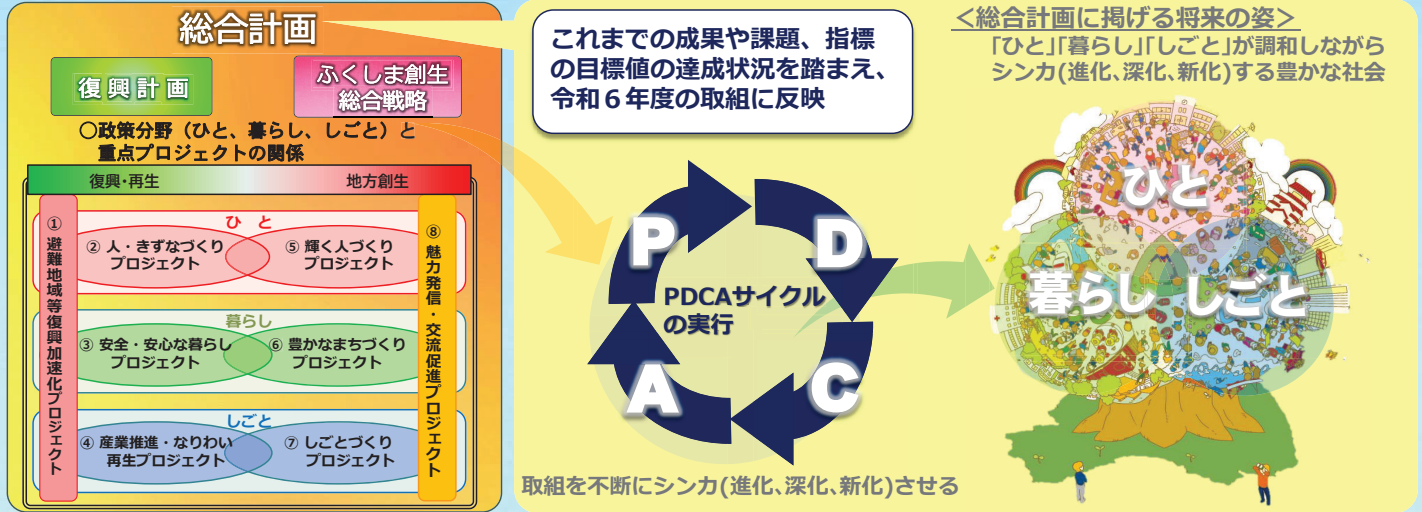
《モニター画像 3》

歳入については、県税や地方交付税はもとより、「原子力災害等復興基金」などの各種基金を有効に活用し、必要な財源の確保に努めました。

歳出については、根拠に基づく政策立案の考え方により、徹底した事務事業の見直しに努め、予算編成を行いました。

令和6年度当初予算

- ◆ 総合計画（令和4～12年度）の3年目
- ◆ 現下の物価高騰に適切に対応
- ◆ 複合災害からの復興、人口減少の克服に向けた福島ならではの地方創生を更に加速
- ◆ 防災力の強化や地球温暖化対策、デジタル変革を推進
→ 総合計画を着実に前進させるための予算として編成



《モニター画像 4》

総合計画の3年目となる令和6年度は、計画に掲げた将来の姿の実現に向け、これまで続けてきた挑戦を更に「シンカ」させていくことが重要であります。

このため、当初予算につきましては、現下の物価高騰に適切に対応しながら、複合災害からの復興や、人口減少の克服に向けた福島ならではの地方創生を更に加速させ、防災力の強化や地球温暖化対策、デジタル変革を推進するなど、総合計画を着実に前進させるための予算として編成いたしました。

それでは、新年度予算の主な事業について御説明いたします。

避難地域における復興の加速化



事業再開への支援



営農再開への支援



県立ふたば支援学校の開校



市町村座談会の様子

福島国際研究教育機構を核とした広域連携の推進

取組内容

- 事業や営農の再開支援
- 双葉地域における中核的病院整備の推進
- 県立ふたば支援学校の開校
- 福島国際研究教育機構（F-R-E-I）について国・市町村等と共に進める取組
 - ・ 広域連携の推進
 - ・ 研究者等の生活環境の充実 など

《モニター画像 5》

はじめに、避難地域における復興の加速化についてであります。

避難指示の解除が進む中、事業や営農の再開支援、双葉地域における中核的病院整備を推進するほか、県立ふたば支援学校の開校など、住民の帰還促進に向け、引き続き、避難地域の生活再建や、生業を再生するための取組を最優先で進めてまいります。

また、福島国際研究教育機構（F-R-E-I）については、国・市町村等と共に広域連携の推進や研究者等の生活環境の充実に取り組んでまいります。

健康長寿の実現



取組内容

- 健康づくりの機運醸成を図る新たなスローガンの広報・啓発
- 健民アプリを活用したウォーキングの促進
- 減塩を推進するための市町村、関係団体等とのネットワーク強化、働き盛り世代に対する減塩の実践活動 など

《モニター画像 6》

次に、健康長寿の実現についてであります。

健康づくりの機運醸成を図る新たなスローガンの広報・啓発を始め、健民アプリを活用したウォーキングの促進、減塩を推進するための市町村、関係団体等とのネットワーク強化や働き盛り世代に対する減塩実践活動など、「健康長寿県」の実現に向け、多様な取組を進めてまいります。

結婚・出産・子育て支援

ひと



企業の若手社員等の
出会いの場の創出



「プレコンセプションケア」の推進



遠方での出産が必要な
妊婦等への支援



保育施設における
「遊び」環境の改善

取組内容

- 企業の若手社員等を対象とした婚活イベントなど、出会いの場の創出
- 若い世代を対象に、将来の妊娠・出産や体の変化に備えた健康管理を支援する「プレコンセプションケア」を推進するため、普及啓発や相談体制等の整備
- 最寄りの分娩施設が遠いなど、遠方での出産が必要な妊婦等に宿泊費用等を支援
- 保育施設における「遊び」環境の改善や働きやすい職場づくりを通じた保育の質の向上 など

7

《モニター画像 7》

次に、結婚・出産・子育て支援についてであります。

結婚を希望する方への支援を強化するため、企業の若手社員等を対象とした婚活イベントなど、出会いの場の創出に取り組んでまいります。

また、若い世代を対象に、将来の妊娠・出産や体の変化に備えた健康管理を支援する「プレコンセプションケア」を推進するため、普及啓発や相談体制等の整備に取り組むとともに、最寄りの分娩施設が遠いなど、遠方での出産が必要な妊婦等の宿泊費用等を支援してまいります。

さらに、保育施設における「遊び」環境の改善や働きやすい職場づくりを通じて保育の質の向上に取り組んでまいります。

教育環境の充実

ひと



英語力向上への取組



生徒による発表の様子

高校生と地域とのつながりを創る取組



海外における交流の様子

海外留学への支援



県立高等学校改革による再編校の校舎等の整備

取組内容

- 児童生徒の英語力向上のための小中高連携による研究や対話型A Iの活用による授業の改善
- 高校生と地域とのつながりを創る取組
- 産学官連携による海外留学への支援
- 県立高等学校改革についての取組
 - ・ 再編校の校舎等の着実な整備
 - ・ 空き校舎等の利活用に向けた市町村への支援 など

8

《モニター画像 8》

次に、教育環境の充実についてであります。

児童生徒の英語力向上のため、小中高の連携による研究や対話型A Iの活用による授業の改善など、学びと指導の変革を進めてまいります。

また、高校生と地域とのつながりを創る取組や産学官連携による海外留学への支援に力を注ぐほか、県立高等学校改革については、再編校の校舎等の着実な整備に加え、空き校舎等の利活用に向けて引き続き市町村を支援してまいります。

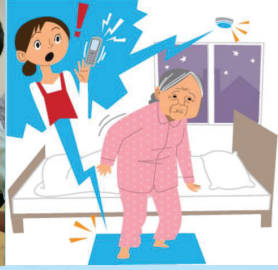
医療・介護体制の充実



今後の感染症危機に備えた
医療提供体制の構築



看護の魅力発信の取組



介護現場の生産性向上



現在の病棟

県立医科大学附属病院の
新病棟建設の検討

取組内容

- 今後の感染症危機に備えた医療提供体制の構築
- 県中・県南圏域における精神保健指定医の輪番制の導入
- 若者の定着に向けた看護の魅力発信
- 介護現場の生産性向上に向けた支援窓口の開設
- 本県医療の中核を担う県立医科大学附属病院の新病棟建設の検討 など

《モニター画像 9》

次に、医療・介護体制の充実についてであります。

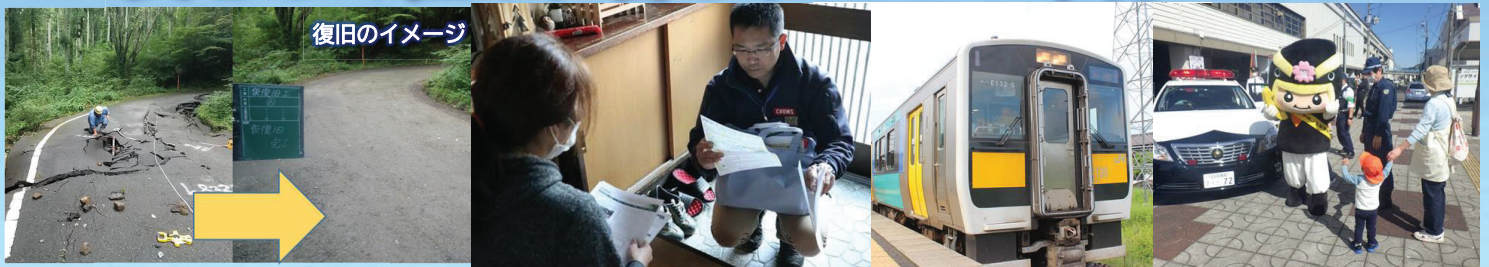
今後の感染症危機に備えた医療提供体制を関係機関と連携して、しっかりと構築いたします。

また、県中・県南圏域において、精神保健指定医の輪番制を導入するほか、若者の定着に向けた看護の魅力発信、介護現場の生産性向上に向けた支援窓口の開設など、医療・介護の充実にきめ細かく取り組んでまいります。

さらに、本県医療の中核を担う県立医科大学附属病院における新病棟建設の検討に着手いたします。

安心して住み、暮らすための環境づくり

暮らし



自然災害からの早期復旧

迅速な生活再建
支援体制の整備

ローカル鉄道の利活用促進

治安対策の強化

取組内容

- 除染に伴う仮置場の原状回復の着実な推進
- 自然災害からの早期復旧や流域治水への理解醸成
- 被災者の実情に応じた迅速な生活再建支援体制の整備
- 防災アプリの活用促進や自主防災組織への防災士の参画
- 防災の基本理念などを定める条例制定の検討
- ローカル鉄道の利活用促進、乗合バスの運行支援の拡充などの地域公共交通の確保への取組
- 治安確保や交通事故対策の強化 など

10

《モニター画像 10》

次に、安心して住み、暮らすための環境づくりについてであります。

除染に伴う仮置場の原状回復について、国や市町村と共に着実に進めてまいります。

災害に強い県づくりに向けては、自然災害からの早期復旧はもとより、流域治水への理解醸成や、被災者の実情に応じた迅速な生活再建支援体制の整備のほか、防災アプリの活用促進、自主防災組織への防災士の参画など、自助・共助・公助の取組を一体的に推進するとともに、防災の基本理念などを定める条例制定の検討を進めてまいります。

さらに、ローカル鉄道の利活用促進や乗合バスの運行支援の拡充など、市町村と共に地域公共交通の確保に取り組むほか、良好な治安の確保や交通事故対策の強化を図ってまいります。

豊かで持続可能なまちづくり

暮らし



住民主体の地域運営への支援



ライフスタイル見直しの促進

「J-クレジット」の創出



誰もが暮らしやすい県づくり

取組内容

- 市町村と連携した過疎・中山間地域等における住民主体の地域運営に向けた支援
- カーボンニュートラルの実現に向けた取組
 - ・ 環境アプリを活用したライフスタイル見直しの促進
 - ・ 温室効果ガスの削減等を通じて資金を循環させる「J-クレジット」の創出
 - ・ サプライチェーンも含めた県内企業の脱炭素化の推進
- 性別による無意識の思い込みを解消するための取組など、誰もが暮らしやすい県づくり など

11

《モニター画像 11》

次に、豊かで持続可能なまちづくりについてであります。

過疎・中山間地域等における住民主体の地域運営を市町村と連携して支援してまいります。

また、カーボンニュートラルの実現に向け、環境アプリを活用したライフスタイル見直しの促進、温室効果ガスの削減等を通じて資金を循環させる「J-クレジット」の創出のほか、サプライチェーンも含めた県内企業の脱炭素化を推進してまいります。

さらに、性別による無意識の思い込みを解消するための取組など、誰もが暮らしやすい県づくりを進めてまいります。

中小企業等の振興、新産業の創出・集積

しごと



県内企業の魅力発信



日本酒製造技術の見える化



(取組例)デジタルスタンプラリー

デジタル化に取り組む
商店街への支援



スタートアップへの支援

取組内容

- 県内企業の人材確保に向けた児童生徒への魅力発信や、大学生と県内企業とのマッチングなど、『感働！ふくしま』プロジェクトの充実・強化
- 「ふくしまの酒」を一層振興するための酒米の開発や製造技術の見える化、消費の拡大等
- デジタル化に取り組む商店街や地域課題解決のためのサービス提供に挑戦するスタートアップへの支援
- ロボット産業における共同受注に向けた事業者支援など、福島イノベーション・コースト構想における重点分野の推進 など

12

《モニター画像 12》

次に、中小企業等の振興、新産業の創出・集積についてであります。

県内企業の人材確保に向け、児童生徒への魅力発信に加え、大学生と県内企業とのマッチングに取り組むなど、『感働！ふくしま』プロジェクトを充実・強化いたします。また、「ふくしまの酒」を一層振興するため、酒米の開発や製造技術の見える化、消費の拡大などに関係部局一丸で取り組んでまいります。

さらに、デジタル化に取り組む商店街や、地域課題解決のためのサービス提供に挑戦するスタートアップをしっかりと支援するほか、ロボット産業における共同受注に向けた事業者支援など、福島イノベーション・コースト構想の重点分野を更に推進してまいります。

農林水産業の振興

しごと



スマート農業の推進



地域の担い手への支援



水産業への総合的な支援

「福島牛」のブランド力強化

取組内容

- GPSから得られる位置情報の精度を全県的に向上させることによるスマート農業の更なる推進
- 地域農業の将来像の実現に向けて経営拡大に取り組む担い手への支援
- 水産業の復興加速化に向けた総合的な支援策の展開
- 畜産業に対する取組
 - ・ 飼料価格高騰対策や自給飼料の生産拡大
 - ・ ゲノムやAI技術の活用による「福島牛」のブランド力強化 など

13

《モニター画像 13》

次に、農林水産業の振興についてであります。

GPSから得られる位置情報の精度を全県的に向上させることにより、スマート農業を更に推進するとともに、地域農業の将来像の実現に向けて経営拡大に取り組む担い手を支援してまいります。

さらに、水産業の復興加速化に向け、引き続き、総合的な支援策を展開するほか、畜産業に対しては、飼料価格高騰対策や自給飼料の生産拡大に加え、ゲノムやAI技術の活用による「福島牛」のブランド力強化に取り組んでまいります。

交流・移住の促進

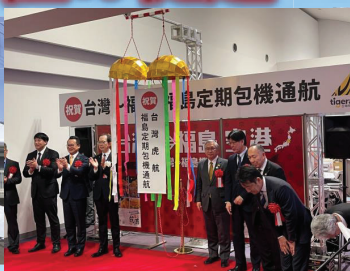
魅力発信・交流促進



交流会のイメージ



就農促進住宅



福島空港への国際線の就航



東京2025デフリンピック
関連イベントの様子

東京2025デフリンピックの
開催に向けた取組

若者のUターン機運の醸成

移住者に向けた住環境の支援

取組内容

- 首都圏に在住する本県出身の若者とのつながり創出によるUターン機運の醸成
- 新規就農者など、移住者に向けた住環境を始めとする支援の充実
- 国内外との多様な交流の促進
 - ・ 福島空港への国際線の就航
 - ・ インターハイや東京2025デフリンピックのサッカー競技、ゴッホ展の開催に向けた取組 など

《モニター画像 14》

次に、交流・移住の促進についてであります。

首都圏にお住まいの本県出身の若者とのつながりを創出し、Uターンの機運を醸成してまいります。

また、市町村等と連携し、新規就農者など、移住者に向けた住環境を始めとする支援を充実させてまいります。

さらに、福島空港への国際線の就航に加え、インターハイや東京2025デフリンピックのサッカー競技、ゴッホ展の開催に向けた取組を通じて、国内外との多様な交流を促進してまいります。

風評・風化対策



戦略的な風評・風化対策



関西圏における魅力の発信



県産品のトッププロモーション

漁業の魅力発信

取組内容

- 根強い風評の払拭と風化の防止に向けた戦略的な対策
 - ・ 首都圏や関西圏等における魅力発信
 - ・ 海外における県産品のトッププロモーション
 - ・ 「常磐もの」の購買促進
 - ・ 新たなオウンドメディア（県自らが企画・運営する広報媒体）による効果的な情報発信 など

15

《モニター画像 15》

次に、風評・風化対策についてであります。

首都圏や関西圏等における魅力発信、海外における県産品のトッププロモーション、「常磐もの」の購買促進に引き続き取り組むとともに、県自らが企画・運営する広報媒体、いわゆる「オウンドメディア」を新たに構築し、効果的な情報発信を行うなど、根強い風評の払拭と風化の防止に向け、戦略的に対策を進めてまいります。

令和6年度重点プロジェクトの概要

503事業 3,591億円

「復興・再生」の加速		「地方創生」の推進	
避難地域等復興加速化		輝く人づくり	
内容 ① 安心して暮らせるまちの復興・再生 ② 産業・なりわいの復興・再生 ③ 魅力あふれる地域の創造	40事業 712億円	内容 ① 一人ひとりの希望をかなえる ② 健やかな暮らしを支える ③ 地域を担う創造性豊かな人を育てる	ひと 104事業 260億円
人・きずなづくり		豊かなまちづくり	
内容 ① 日本一安心して子どもを生み、育てやすい環境づくり ② 復興を担う心豊かなたくましい人づくり ③ 産業復興を担う人づくり ④ ふくしまをつなぐ、きずなづくり	ひと 39事業 52億円	内容 ① 安全で安心な暮らしをつくる ② ゆとりと潤いのある暮らしをつくる ③ 環境にやさしい暮らしをつくる	暮らし 45事業 113億円
安全・安心な暮らし		しごとづくり	
内容 ① 安全・安心に暮らせる生活環境の整備 ② 帰還に向けた取組・支援、避難者支援の推進 ③ 環境回復に向けた取組 ④ 心身の健康を守る取組 ⑤ 復興を加速するまちづくり ⑥ 防災・災害対策の推進	暮らし 114事業 735億円	内容 ① 活力ある地域産業を支え、育てる ② 魅力ある農林水産業を展開する ③ 若者の定着・還流につなげる	しごと 54事業 990億円
産業推進・なりわい再生		魅力発信・交流促進	
内容 ① 中小企業等の振興 ② 新たな産業の創出・国際競争力の強化 ③ 農林水産業の振興 ④ 観光業の振興	しごと 69事業 686億円	内容 ① 地域の多様な魅力を発信する ② ふくしまへ新しい人の流れをつくる	38事業 42億円

《モニター画像 16》

以上の主要な事業を含め、令和6年度当初予算における総合計画の8つの重点プロジェクトに係る事業は、503事業で、計3,591億円となります。

福島県令和6年度当初予算

予算額 1兆2,381億円
(うち復興・創生分 2,394億円)

17

《モニター画像 17》

本県は、未曾有の複合災害からの復興に加え、急激に進む人口減少、頻発する自然災害など、多くの困難を抱えている一方で、これまで積み重ねてきた挑戦が着実に成果となって現れております。

第2期復興・創生期間の後半を迎える新年度は、これらの成果を土台として、総合計画の一つ一つの施策をしっかりと前に進めるよう、全力で挑戦を続けてまいります。